

施策評価シート（平成29年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策主管 課	生涯学習課	施策主管 課長名	藤原 睦
	施策No.	2	施策名	先人の顕彰	施策の 目指す姿	郷土の先人の功績を理解しています	関係課名	賢治まちづくり課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に誇りを持つ後継者づくりと人材育成のため、子ども達が先人に関わる機会の充実が求められています。 ・先人の顕彰や新たな先人の掘り起しなど、それらを系統立てて紹介することが課題となっています。 ・宮沢賢治生誕の地として、市内外のより多くの人に宮沢賢治やその作品に触れていただくために、市民や団体との協働による継続した取り組みが必要です。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

<p>(前年度評価時の今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童話村での市主催イベント(ライトアップ、フェス)を定着化させるとともに、民間のイベント利用に向けた施設整備の検討を行う。 ・企画展や広報活動等で先人を広く紹介していく。 ・地域の先人の遺品、史跡等を地域と協働で活用していく方法を検討する。 <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一昨年実施した宮沢賢治生誕120年記念事業として実施した「童話村の森ライトアップ」が好評を博したことから、継続事業として取り組んだ。童話村の施設整備については、整備後20年が経過していることから、ステージの張替、屋外施設改修設計及び野外ステージ整備を行った。 ・花巻の先人であり功績を残しながらも埋もれている先人を紹介する事業、先人ギャラリー展(「メキシコ移民のリーダー 照井亮次郎 パネル展」)を実施した。まなび学園・大迫図書館・石鳥谷図書館・東和図書館を巡回して展示した。 ・前述のテーマを選ぶとき、照井亮次郎の出身地である矢沢地区の市民から、様々な情報を提供してもらった。
--

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1)郷土の先人に対する理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○先人顕彰施設の展示内容や企画展の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・共同企画展、先人ギャラリー展の開催 ○市民講座、セミナー等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・教育普及事業(「新渡戸教室」) ○先人顕彰施設的环境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治イーハトーブ館整備事業(展示場天井扇取付業務、客電ホール調光盤取替、屋上防水改修設計・工事) <p>(2)賢治さんの香りあふれるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賢治関連施設的环境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・羅須地人協会駐車場整備、宮沢賢治イーハトーブ館整備 ○賢治さんを感じることができる場の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・賢治アートストリート ○賢治関連催事の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治生誕祭全国俳句大会補助 ・全国高校生童話大賞、宮沢賢治創造演劇公演、賢治フェスティバル、賢治関連セミナー ○賢治関連情報発信の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・賢治カレンダーの発行

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
この1年間に宮沢賢治記念館等の市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合(F-7)	郷土の先人の功績について理解するため、市民が先人顕彰施設を訪れたり、先人に関するイベントに参加しているが、その状況を示す指標	出典:まちづくり市民アンケート 問:あなたは、昨年1年間に市内の先人顕彰施設(宮沢賢治記念館、花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館、宮沢賢治イーハトーブ館、宮沢賢治童話村、高村光太郎記念館等)を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加したことがありますか? (1)ある(2)ない (1)と答えた市民の割合	%	目標値	32.0	34.0	36.0	32.0	34.0	36.0
				実績値	32.6	30.0	29.6	30.4		
日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合(F-8)	賢治さんの香りあふれるまちづくりは、「賢治を学ぶ場づくり」、「イベント開催による交流人口の拡大」、賢治の香りあふれるまちの整備」、「情報発信・PRツールとしての商品開発」の4分野の事業で構成されており、これら全ての分野の事業成果が市民に享受されているかを示す指標	出典:まちづくり市民アンケート 問:あなたの身近に、宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思いますか?次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。 (1)十分あると思う(2)あると思う(3)あまりないと思う(4)ないと思う(5)わからない 成果指標は、(1)及び(2)と答えた市民の割合	%	目標値	62.0	64.0	65.0	66.0	67.0	68.0
				実績値	58.1	63.0	62.2	63.6		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「この1年間に宮沢賢治記念館等の市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先人顕彰施設のうち賢治関連施設については、各館のコンセプトを明確にし連携を図っていることから、広く市民等に利用されている。一方、新渡戸記念館で実施しているアンケート調査では、知名度の点において劣っていると分析されている。 <p>■成果指標「日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治生誕120年記念事業が行われたH28に比べて大事業は実施されていないが、継続して各種事業を実施してきたことが成果に結びついている。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1-1	賢治のまちづくり推進事業	賢治まちづくり課	一致	直結	B
	賢治を学ぶ場づくり(宮沢賢治賞・イーハトーブ賞)、賢治イベントの開催(開催回数4回)、賢治の香りあふれるまちの整備(羅須地人協会駐車場整備事業等)、賢治情報の発信(賢治イベントカレンダーの発行)				
1-2	賢治のまちづくり推進事業	生涯学習課	一致	直結	B
	賢治セミナーの開催(開催回数5回)				
1-3	賢治のまちづくり推進事業	宮沢賢治記念館	一致	直結	B
	「賢治の世界セミナー」の開催(開催回数17回)、「賢治のワークショップ」の開催(開催回数6回)、「特別展」の開催(開催回数3回)				
2	先人顕彰推進事業	生涯学習課	一致	直結	C
	5館(萬鉄五郎記念美術館、花巻新渡戸記念館、博物館、総合文化財センター、高村光太郎記念館)共同企画展の開催(開催回数5回)、先人顕彰ギャラリー展の開催				
3	宮沢賢治童話村整備事業	賢治まちづくり課	一致	直結	-
	童話村ステージテント張替、童話村屋外施設改修設計(ステージ、キッチンブース)、童話村野外ステージ整備				
4	宮沢賢治普及・啓発事業	宮沢賢治イーハトーブ館	一致	直結	C
	宮沢賢治学会イーハトーブセンターの支援、企画展の開催(3回)				
5	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業	賢治まちづくり課	一致	直結	-
	施設設備の補修(展示場天井扇取付業務、客電ホール調光盤取り替え、屋上防水改修設計・工事)				
6	新渡戸記念館企画展示事業	花巻新渡戸記念館	一致	直結	C
	特別展や教育普及事業(「新渡戸教室」)の開催(開催回数10回)				
7	高村光太郎記念館企画展示事業	生涯学習課	一致	直結	B
	記念館春季企画展(「光太郎と花巻の湯」)、記念館秋季企画展(「智恵子の紙絵」)、記念館講座(「初夏の里山さんぽ～山口のくらし～」)の開催				

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・花巻は、世界に誇ることができる先人に所縁がある土地であるにもかかわらず、アンケートによれば、知名度が低いと分析されている施設もある。事業の見直しも大切であるが、PR活動や、他の先人の顕彰活動を通じた知名度を高める活動が必要である。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>
--

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・アンケートによれば、知名度が低いと分析されている施設もある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・宮沢賢治、新渡戸稲造、萬鉄五郎、高村光太郎などの著名な先人と花巻のかかわりを、今まで以上に内外に発信するとともに、埋もれている郷土の先人を発掘し、顕彰活動を展開する。</p>
--